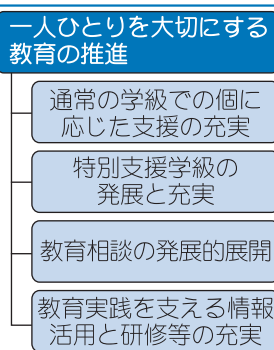


# 一人ひとりを大切に する教育の推進に向けて

教育委員会では、西東京市教育計画において、新たな基本方針として「一人ひとりを大切に  
する教育の推進に向けて」を掲げています。  
これは、一人ひとりの教育的ニーズを的確にとらえ、個に応じた教育支援を推進するも  
ので、一人ひとりが社会に参加し心豊かな大人に成長することを目指しています。

## 教育支援 推進プラン



「西東京市教育支援推進プラン（平成26年度～平成30年度）」では、実現のための具体的な施策として、次の4つの基本方針を定めました。

### ① 通常の学級での個に応じた支援の充実

児童・生徒一人ひとりが抱える様々な課題に対して、その背景を理解した上で、必要な教育的支援をきめ細かく行います。学校での教員の「気づき」や家庭での「気づき」など、支援機関等での支援内容など、学校組織での有効な情報の共有化や適切な引き継ぎを確実に行います。さらに、東京都教育委員会が打ち出した「特別支援教室構想」に備えて、校内体制や通級指導の充実等、教育委員会全体で対応していくシステムを構築していきます。

また、個の教育的ニーズに応じるための教育資源として、「スナップ教室（適応指導教室）」や「Nicomルーム（不登校ひきこもり相談室）」等の充実を図ります。

### ② 特別支援学級の発展と充実

固定制の特別支援学級について、知的な面での課題を中心としたA学級（小学校）、I学級（中学校）、社会性や人間関係の面での課題を中心としたB学級（小学校）、J学級（中学校）の教育内容を充実します。さらに、児童・生徒の教育的ニーズをとらえた上で、課題に応じた学級の開設についても検討します。

また、特別支援学校に在籍している児童・生徒の地域との関わりについて、副都庁制度の活用等により充実を図ります。

### ③ 教育相談の発展的展開

教育相談センターにおける教育相談の機能をより高めていきます。子どもの全体像を理解する専門性の高い相談員を配置する体制を維持し、「来所による相談」と相談員が学校や保育園、家庭などに「出向いていく相談」、関係機関との連携を密にする「スクールソーシャルワーク」など、引き続き柔軟に展開していきます。

さらに、問題の早期発見、早期対応、切れ目のない支援体制の構築や、複雑で困難な状況に対応するために、部局を超えたネットワークを充実していきます。

### ④ 教育実践を支える情報活用と研修等の充実

個に応じた教育支援や指導の充実を図るために、様々な教員研修を行います。また、各学校での実践の成果を共有できるように、教育委員会が中核となつて、情報収集や情報発信を積極的に進めます。

コーナーや市ホームページで公開しています。

### ◆教育支援課

042(438) 4074

## 特別支援に関する教員向け講演会の実施

これまでも、各学校では、特別支援教育に係る研修会や連絡会を通して、学習指導や生活指導等について研究を深めてまいりました。

今年度は、通常の学級における支援や通級指導学級・特別支援学級における教育活動の一層の充実を図るため、市立小・中学校の全教員を対象とした「特別支援教育講演会」を7月8日（火）に開催しました。講演会は、「つなぎ」を主宰する宮本紀夫氏を講師に招き、西東京市教育計画や教育支援推進プラン、インクルーシブ教育の内容をテーマに行いました。

この講演会を通して、各教員が特別支援教育に関する認識を深めるとともに、児童・生徒一人ひとりが抱える様々な課題に対するきめ細かい支援が行われるよう、各学校の特別支援教育に係る取組の一層の充実を図ります。

### ◆教育指導課

042(438) 4075

## 乳幼児からの親子コンサート

○日時  
平成26年9月27日（土）  
午前10時～11時20分  
※開場午前9時30分

### ○会場

保谷こもれびホール  
保谷高校OB吹奏楽団  
（略称 HOB）

### ○内容

子どもの好きな曲（となりのトトロなどのアニメソング他）を演奏します。  
・コンサートの冒頭で、家庭学習方法について説明します。

### 乳児・幼児の方大歓迎

コンサートを通して、お子様と保護者の方が一緒に、アットホームな雰囲気の中で、音楽に親しんでいただけたら幸いです。

### 家庭学習について

国や都が実施する学力テスト等の結果をみると、正答率と家庭学習の状況に関係があることが明らかになってきました。  
コンサートの冒頭で、家庭学習の方法について説明させていただきます。

小学校入学前のお子様の保護者の方も、今後の参考としてお聞きいただけたらと思います。  
当日は、事前の申込は不要です。直接会場へお越しください。

### ◆教育指導課

042(438) 4075



## 西東京市

## ブックカフェステイバル

読書活動は、全ての学習の基盤となる学習活動です。  
学校では、国語科における授業改善を行うとともに、学校図書館を積極的に活用したり、朝読書の時間を設けたりするなど、読書活動を充実させるための取組を行っています。

また、教育委員会でも、学校図書館専門員の配置や、読書月間を定めるなど、読書活動推進に向けた取組を進めています。

この取組の一環として、7月29日（火）に、保谷こもれびホールにて、「西東京市ブックカフェステイバル」を開催します。このフェスティバルは、児童・生徒の読書活動を推進するとともに、言語能力やコミュニケーション能力の向上を目的として実施するものです。

各中学校の代表生徒が「私の好きな1冊」をテーマに3分間という短い時間の中で、本の魅力を来場者に伝えます。また、午後2時30分からは、「もう一度読みたい ことばの力」をテーマに、元NHKアナウンサー、現ことばの杜代表の山根基世氏による講演会を行います。

保護者及び地域の方々の席を100席ほどご用意していますので、ぜひお越しください。



### ◆教育指導課

042(438) 4075

## 夏休み！ 東大農場のひまわり迷路で遊んでみませんか？

東大農場（正式名称…東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構）では、毎年夏に、ひまわり迷路を公開しています。

このひまわり迷路は、田無小学校・谷戸小学校の子どもたちと市民、市民活動団体の皆さんと一緒に育てたものです。

子どもたちは、自然や地域の大人と関わりながら、「ひまわりの播種、収穫、種から搾油、油を利用した食」の一連の体験を通して、食と資源循環について学習を深めています。

6月 東大の先生に教わりながら、東大農場の広い畑にひまわりの種を植え、防鳥ネットを掛けて小さな芽を保護します。



7月 除草や間引き・移植をし、迷路の原型をつくります。



8月 たくさんの手をかけた立派なひまわりが咲き、ひまわり迷路の一般公開を行います。

9月 花が咲き終わると、自分の顔よりも大きなひまわりを収穫します。



11月 ひまわりの種をとり、乾燥させた後、種から油を絞ります。絞った油を精製し、料理などに利用します。



夏休みには、ぜひ東大農場のひまわりを見に来てください。ひまわり迷路の公開時期は、ひまわりの成長により決定しますので、詳細は、市ホームページでご確認ください。

なお、今年の公開時には、東大で育種して品種登録されている「緑地美人」など、約200種の花ハスの公開（午前11時まで）もしています。

### ▽東大農場の公開日

毎週火曜日・金曜日（祝日・年末年始東大指定日を除く）午前9時～午後4時30分

### ◆教育企画課

042(438) 4070